

鹿児島県特産品協会だより Vol. 36

News from Kagoshima specialty Association

2016 Spring

公益社団法人
鹿児島県特産品協会



亀崎染工有限会社は創業明治二年。伝統の技を継承し、鹿児島県指定伝統的工芸品である「五月織」の制作に取り組んでいる。



上海アピタの金虹橋店で1月21日(木)から開催した「鹿児島フェア」では、県産品の試食販売やブリの解体実演等を披露し大盛況であった。



県立明桜館高校生2名がブランドショップにて職場体験(2月1日(月)~3日(水))。本場大島紬の検査方法を学んでいる様子。

■特集「世界をリードするかごしまの黒の力」

- ・ふるさとに根差した黒ブランドの魅力 鹿児島から世界へ 2
- ・年間テーマ「世界をリードするかごしまの黒の力」の終了(取材者総括) . . . 3

■流通最前線

- ・首都圏市場動向 4~5
- 県産品の持続的な消費喚起・拡大を図ろう！(第二弾)
- ・海外市場動向 6

■特産品協会インフォメーション

- ・ふるさと特産運動推進指導員の声 6

■会員紹介

- ・有限会社大阪屋仏壇店 7
- ・藤安醸造株式会社 7

■鹿児島羅針盤

- ・PPPでチーム力を高め地域間競争に挑む 8
- 株式会社日本政策投資銀行 南九州支店長 福留 浩二 氏